

2019年度 事業報告

2019年度事業計画	2019年度事業計画に対する結果報告
<p>我が国のシェアサイクル導入都市は135に達しているが、導入されている自転車台数やポート密度などは依然として低い水準に止まっている。現在、東京の10区で2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、シェアサイクルの広域実験が実施されているが、新たな交通手段導入に対する高い評価とともに改善すべき点について様々な指摘もされている。</p> <p>なお、2017年度に制定された『自転車活用推進法』に基づき国による「自転車活用推進計画」が2018年度に定められたが、今後は地方公共団体による「自転車活用推進計画」の策定が急がれている。</p> <p>日本シェアサイクル協会は、今後とも地方公共団体をはじめ会員に対する情報提供・技術支援に努め、シェアサイクルが都市の公共交通システムの一環として役割を果たすことができるよう社会に発信していく。</p>	<p>我が国におけるシェアサイクル普及促進のために、講演会・見学会・研修会などを積極的に進めてきた。</p> <p>国が毎年開催している全国シェアサイクル会議において、シェアサイクル協会は共催団体として、シェアサイクルに関わる情報の提供・展示などを担ってきた。</p> <p>地方公共団体が『自転車活用推進法』に基づき「自転車活用推進計画」を策定する際に、必要となる調査・計画・事業手法などについて情報提供・技術支援を積極的に進めていくことを社会に発信してきた。その活動の一環としてシェアサイクル導入に必要な情報・解析・計画手法などについて手引きをつくることとし、協会顧問や会員等による委員会を発足させた。</p>
<p>《具体的活動》</p> <p>①総務部会</p> <ul style="list-style-type: none">・国・各都市・関連業界の動きを幅広く情報収集するとともに情報発信を行う。・協会に対するシェアサイクル導入に関する相談を受け付ける窓口を設置する。自治体などからの相談に対して、顧問の先生を紹介するなどの対応を行う。・東京都及び各区のシェアサイクル担当者を講師に招き、「東京自転車シェアリング」の現状及び課題についての研修会（勉強会）を実施する。・協会としての団体保険を検討する。	<p>《具体的活動》</p> <p>①総務部会</p> <ul style="list-style-type: none">・顧問の先生方にシェアサイクルの相談窓口になっていただいた。HPに問い合わせフォーム、名簿作成を行い相談者に個別に紹介を行うこととした。・自治体等を対象とした、シェアサイクルの手引きを作成するための編集委員会立ち上げた。2020年度中に完成を目指す。・「東京自転車シェアリング」の現状及び課題に関しての勉強会は、自治体の事情から見送った。・国土交通省や顧問の先生の講演及び会員会社のシェアサイクルの現状と今後のあり方についての研修会を2回開催した。・自転車保険についての検討を行った。2020年度も引き続き検討していく。
<p>②技術部会</p> <ul style="list-style-type: none">・国内・国外シェアサイクルのシステム技術（ハードウェア技術、ソフトウェア技術）を比較研究する。部会を通して情報共有するとともに議論を重ねていき、シェアサイクルのあるべき姿を模索する。・国内のシェアサイクル導入に関するマーケットをシステム技術の視点から調査する。調査あるいはヒアリングを自治体中心に行い、シェアサイクルに対する期待度をシステム面から研究する。・国内シェアサイクルの継続的な発展を推し進めるために、シェアサイクル事業の在り方、付加価値の創造、収支改善などについてシステム面から研究する。とくに駐輪場管理とシェアサイクルの共存共栄を重視した研究を実施する。・見学会及びヒアリングの実施 見学会：新規参入事業者（候補：ハローサイクリング、メルチャリ、アパマン、モバイク、Pippa等）・シェアサイクルが継続的な事業となるべく、運用技術（システム利用技術）について協議していく。	<p>②技術部会</p> <ul style="list-style-type: none">・「シェアサイクルが持続性をもった発展をするための課題とあるべき姿」について 技術部会メンバー各社からアンケート収集を実施したが定期部会だけでは満足な意見交換に至らず、本来の目的は達成できなかった。 この2019年度活動の反省を踏まえ、2020年度の技術部会活動に反映していく。・見学会は、2020年度に実施することとしている。
<p>③広報部会</p> <ul style="list-style-type: none">・総務部会、技術部会と連携を図りながら、情報の収集と発信を行っていく。・外部への積極的な情報発信を行うために、協会ホームページの見直し等、情報発信の方法について検討を行っていく。・最新情報をホームページに公開していく。	<p>③広報部会</p> <ul style="list-style-type: none">・COOL CHOICEに賛同し、会員のシェアサイクルにCOOL CHOICEのステッカー貼付を継続している。・COOL CHOICEの一環として、スマートムーヴ(smart move)について広く周知を図るためにポスターを配布し関係各所に貼付した。・自転車活用推進官民連携協議会に出席し当協会のPRを行った。・自転車活用推進官民連携協議会作成の5月自転車月間ポスターや自転車通勤導入に関する手引きを会員へ配布し活用いただいた。・全国シェアサイクル会議では、国交省協力のもと、展示ブースの主催となり盛況のうちに無事終了した。・自転車利用環境向上会議にブース出展をし、当協会のPRを行った。・当協会ホームページで最新情報の発信を行なった。・多数の取材協力を行なった（富士経済、モビリティ・インフラ&サービス関連市場の将来展望 2020、日本経済新聞等々）・「パーキングプレス」に最近の動向等について顧問の方々にご寄稿をいただいた。